

幼保連携型認定こども園ふるえこども園 重要事項説明書

特定教育・保育の提供を開始するにあたり、本園の利用にあたっての重要事項は次のとおりです。

【1】運営主体

名称	社会福祉法人古江福祉会
所在地	鹿屋市古江町820番地
連絡先	TEL 0994-46-2067 FAX 0994-46-5067
代表者氏名	理事長 前田 祥
定款に定めた事業の目的	第二種社会福祉事業【幼保連携型認定こども園の経営 一時預かり事業の経営】

【2】施設概要

施設の種別	幼保連携型認定こども園
施設の名称	幼保連携型認定こども園ふるえこども園
施設の所在地	鹿屋市古江町820番地
連絡先	TEL 0994-46-2067 FAX 0994-46-5067
ホームページ	http://furue.info/
施設長	前田 祥
開設年月日	昭和33年4月1日
認可定員	70人
利用定員	1号認定子ども 10人 2号認定子ども 36人 3号認定子どものうち満1歳以上の子ども 20人 3号認定子どものうち満1歳未満の子ども 4人
対象児童	満3歳以上の小学校就学前児童及び満3歳未満の保育を必要とする小学校就学前児童
組編成	つくし組(0歳児) たんぽぽ組(1歳児) すみれ組(2歳児) さくら組(3歳児) ちゅうりっぷ組(4歳児) ひまわり組(5歳児)
敷地	【敷地面積】 1,689.00㎡ 【園庭面積】 1,016.00㎡
園舎	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建 【延床面積】 542.00㎡

【3】設備の概要

設備	室数	面積
乳児室兼ほふく室兼保育室	1室【つくし組・たんぽぽ組 乳児室兼ほふく室兼保育室】	64.00㎡
保育室	3室【すみれ組保育室】 【さくら・ちゅうりっぷ組保育室】 【ひまわり組保育室】	68.00㎡ 64.00㎡ 64.00㎡
調理室	1室	60.00㎡
事務室・医務室	1室	54.00㎡
幼児用トイレ	1室【幼児用大便器6 幼児用小便器4】	35.00㎡
手洗い場・シャワー室	1室	
沐浴室	1室【乳児用便器1】	8.00㎡

【4】施設の目的・運営方針

- 本園は、就学前の子どもの教育、保育に関する法律に基づき、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、満3歳以上の子どもに対する教育並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図れるよう適正な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うことを目的とします。
- 本園は、教育基本法、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律及び子ども・子育て支援法その他の関係法令を遵守して運営します。

【園理念】

子ども一人一人を大切に、保護者から信頼され、地域の活性となる園を目指す。

【園方針】

子ども一人一人が行き届いた環境の中で心身ともに健やかに成長できるように努める。

【園目標】

あかるく たのしく すこやかに

【特定教育・保育目標】

- 「日常生活に必要な基本的生活習慣や態度を身につける」

- 「体力と運動機能の向上を目指す」
- 「豊かな感性、創造力、道徳心を身につける」
- 「相手を尊重し、思いやりのある心を持つ」

【5】職員の設置状況（平成31年4月1日）

職名	員数	職名	員数
園長	1人（常勤専従）	栄養士	2人（常勤専従）
副園長	1人（常勤専従）	調理員	1人（非常勤）
主幹保育教諭	2人（常勤専従）	用務員	1人（非常勤）
保育教諭	19人（常勤専従・非常勤）		

*ローテーション等により、各職員の勤務日及び勤務時間帯は異なります。

*職員数は変更になる場合もあります。

【6】特定教育・保育を行う日及び行わない日

- 本園の特定教育・保育の提供を行う日は、月曜日から土曜日までとします。ただし、1号認定子どもについては、原則として月曜日から金曜日までとします。
- 本園の休園日は、次のとおりとします。
 - 日曜日
 - 国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - 年末年始（12月29日から1月3日）
 - 年度末2日間
- 1号認定子どもへの特定教育・保育の提供については、前項の休園日を除く、次の休業日を加えます。
 - 土曜日
 - 夏季休業 8月1日から8月31日まで
 - 冬季休業 12月25日から1月7日まで
 - 学年末休業 3月21日から3月31日まで
- 特定教育・保育上必要があり、または、やむを得ない事情があるときは（2）の規定にかかわらず休園日に保育を行うことがあります。
- 災害、伝染病、その他これに類するやむを得ない事情があるときは、必要最小限度の期間を休園とすることがあります。

【7】特定教育・保育を提供する時間

- 本園の特定教育・保育を行う時間は、次のとおりとします。
 - 【教育標準時間認定に係る特定教育・保育時間】
教育時間 8時45分から12時45分まで
預かり保育 上記以外の時間において 7時15分から18時45分までの範囲内で預かり保育を提供します。
 - 【保育標準時間認定に係る特定教育・保育時間】 7時15分から18時15分まで
 - 【保育短時間認定に係る特定教育・保育時間】 8時45分から16時45分まで
- （1）に規定した保育標準時間認定並びに保育短時間認定による特定教育・保育時間外において、やむを得ない事情により保育を必要とする場合は、次の時間の範囲内で延長保育を提供します。
 - 【保育標準時間認定に係る延長保育時間】 18時15分から18時45分まで
 - 【保育短時間認定に係る延長保育時間】
7時15分から 8時45分まで 16時45分から18時15分まで 18時15分から18時45分まで
- 特定教育・保育、預かり保育又は延長保育を提供する時間中に、子どもの急病、事故、災害その他やむを得ない事情がある場合、保護者へ連絡の上、個別の子ども若しくは全ての子どもの特定教育・保育、預かり保育又は延長保育を提供する時間を短縮することがあります。
- 年3回6月、8月、2月の土曜日に職員園内研修並びに園内清掃のため特定教育・保育時間7時15分から13時30分までの日を設けます。

【8】特定教育・保育等の内容

本園は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律、子ども・子育て支援法、その他関係法令を遵守し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、以下に掲げる特定教育・保育その他の便宜の提供を行います。

- 特定教育・保育 【7】に規定する時間において特定教育・保育を提供します。
- 食事の提供 全ての子どもに完全給食を提供します。
- 通園バスの運行 本園が認める希望者に限り通園バスによる送迎を行います。
- 子育て支援事業
- 延長保育事業
- 一時預かり保育事業【幼稚園型・一般型】
- その他子どもの生活全体が豊かになるための便宜の提供

【9】利用の開始、終了に関する事項

(1) 利用の開始

教育標準時間認定を受ける子どもは、保護者が本園に申し込みを行い、市町村の認定を受けたのちに利用開始となります。また、保育時間認定を受ける子どもは、市町村が行う利用調整等により本園の利用が決定されたときかつ保育の実施について委託を受けたときに利用開始となります。

(2) 利用の終了

- * 子どもが小学校就学の始期に達したとき
- * 支給認定保護者が法に定める支給要件に該当しなくなったとき
- * 支給認定保護者から利用の取消し又は退園の申し出があったとき
- * その他、利用継続について重大な支障又は困難が生じたとき

【10】利用料

(1) 基本保育料

居住する市町村が定める利用料を本園へ口座振替により支払っていただきます。ただし、口座振替の手続きが金融機関等の都合により間に合わなかった場合は、本園が指定する期日までに現金にて支払っていただきます。

本園が指定する振替日に振替ができなかった場合は、本園が指定する期日までに指定口座へお振り込みしていただきます。尚、お振り込みに係る手数料は、保護者のご負担となります。

(2) 基本保育料の下表に掲げる費用を負担していただきます。

《預かり保育・延長保育に係る利用者負担金》

対象となる子ども	内 容	利用料金
1号認定子ども	預かり保育 7時15分～8時45分 12時45分～18時45分 ※土曜日、休業日を含む。	月額 6,000円 ※第2子以降 月額 3,000円
2号認定子ども 3号認定子ども	【保育標準時間認定】 延長保育 18時15分～18時45分 【保育短時間認定】 延長保育 7時15分～8時15分 8時15分～8時45分 16時45分～17時15分 17時15分～18時15分 18時15分～18時45分	無料 1回 100円 無料 無料 1回 100円 1回 50円

※1号認定子どもの預かり保育、2号・3号認定子どもの延長保育の利用がやむを得ない事情により18時45分を過ぎた場合、1回につき50円を支払っていただきます。

《教育・保育の提供に要する実費に係る利用者負担金》

対象となる子ども	内 容	利用料金
1号認定子ども	給食費用【完全給食】 特定教育・保育に必要とする用品	月額 3,000円 費用の相当額
2号認定子ども	特定教育・保育に必要とする用品	費用の相当額
3号認定子ども	特定教育・保育に必要とする用品	費用の相当額

※1号認定子どもの預かり保育料及び給食費用は、基本保育料と合わせて口座振替により支払っていただきます。

※1号認定子どもの18時45分以降の預かり保育料及び2号・3号認定子どもの延長保育料は、利用の翌月請求致しますので、本園が指定する期日までに現金により支払っていただきます。尚、退園する場合は退園日までに支払っていただきます。

※特定教育・保育に必要とする用品の費用があった場合は、費用の相当額をその都度現金により徴収させていただきます。

(3) 利用料の未納が1か月以上に及んだ場合、本園の提供する特定教育・保育等の利用又は登園を停止させていただきます。引き続き利用料を納付されない場合は、鹿屋市長と協議の上、退園となる場合があります。本園は、退園後も未納分の利用料について請求致します。

(4) 今年10月より実施される幼児教育の無償化(3～5歳児)に伴い、主食費・副食費相当額(給食費)を本園が徴収することとなります。従来2号認定子どもについては基本保育料の中に給食費は含まれていましたが、10月以降は1号認定子ども同様に給食費を支払っていただくこととなります。現時点で本園に支払っていただく給食費の額は決定しておりませんので、その額が決まり次第お知らせ致します。また、国において、低所得世帯の児童への負担軽減が検討されていますが、その詳細が判明していないため、国の負担軽減策等の方針が明らかになった時点でお知らせ致します。なお、給食費は、本園が指定する期日に口座振替にて支払っていただきます。

【11】嘱託医等

- (1) 内科医 池田 徹【池田病院】 利用開始時の健康診断及び年2回内科検診
- (2) 歯科医 大山 宏史【おおよま歯科クリニック】 年2回歯科健診
- (3) 薬剤師 小柳 摩利子 環境衛生等の維持改善

【12】緊急時及び非常災害時の対応

- (1) 特定教育・保育中に園児の病状の急変、事故、その他緊急事態が生じた際には、速やかにご連絡させていただくとともに、本園マニュアルに基づき必要な措置を講じます。
- (2) 非常災害時には、本園マニュアルに基づき対応し、必要な措置を講じます。
- (3) 消防用設備の点検を年2回、避難及び消火訓練を毎月1回実施しています。

【13】安全対策及び事故防止

本園では、安全かつ適切に特定教育・保育を提供するために、事故防止及び事故対応についてのマニュアルを策定し、事故を防止するための体制を整備しています。

【14】虐待防止

本園では、子どもの人権の擁護及び虐待の防止を図るため「児童虐待防止マニュアル」に基づき、必要な措置を講じます。

【15】要望・相談・苦情等に関する事項

本園では、要望、相談、苦情等に係る窓口を設置し、面接、電話、書面などにより受付担当者が随時受け付けています。

- (1) 相談・苦情解決責任者 幼保連携型認定こども園ふるえこども園 園長 前田 祥
- (2) 相談・苦情受付担当者 幼保連携型認定こども園ふるえこども園 主幹保育教諭 濱田 ひとみ
- (3) 第三者委員
社会福祉法人古江福祉会 監事 米永 大吾 (円鏡保育園)
連絡先 鹿屋市西祓川町376-2 TEL 0994-43-9000
社会福祉法人古江福祉会 監事 野平 淳行 (わかば保育園)
連絡先 鹿屋市寿4丁目8-14 TEL 0994-44-5234

【16】保険に関する事項

本園は、以下の保険に加入しています。

【保険の種類】 保育園総合保険(損害保険ジャパン日本興亜株式会社)

【保険の内容】 保育園児等傷害保険 主催行事参加者傷害保険 保育園賠償責任保険
個人情報漏洩対応保険 自動車(通園バス)搭乗中傷害保険

【17】秘密の保持

- (1) 本園は、業務上知り得た子ども及び支給認定保護者等の個人情報並びに秘密事項については、正当な理由なく第三者に開示提供、漏洩することはありません。
- (2) 本園の職員は、業務上知り得た子ども及び支給認定保護者等の個人情報並びに秘密事項について保持します。また、その職を退いた後も同様とします。

※重要事項説明書の内容に同意した証として、重要事項説明書を2通作成し、双方、記名押印の上各1通を保有する。

署名日 令和 年 月 日

住所 _____

住所 鹿屋市古江町820番地

保護者名 _____ ㊟

法人名 社会福祉法人古江福祉会

幼保連携型認定こども園

児童名 _____

園名 ふるえこども園

児童との関係 _____

代表者名 園長 前田 祥 ㊟

職名 _____
説明者 氏名 _____ ㊟